



## 概要

釧路市は、釧路駅を起点に路線バスが各方面へ運行しているが、商業施設や医療機関の郊外移転、中心市街地の空洞化に伴って、マイカーの優位性が高まるとともに、運行効率の低下により路線バスの採算が悪化し路線維持が困難な状況になってきていることから、バス路線・ダイヤの再編成、公共交通機関の利用促進検討、新規公共交通利用者の開拓に向けた課題の検討や郊外部における乗合タクシーの導入等により、公共交通の利便性・効率性を向上させ、持続可能な公共交通体系の構築を図る。

### バス路線・ダイヤ再編成(21年度～)

・利用者の利便性向上、車両の運用効率化を図るため、複数路線が重複して運行する区間は幹線化、それ以降の区間は支線化し、各線がスムーズに接続するようダイヤ再編成の検討を行う。

### 公共交通機関の利用促進検討(21年度～)

・病院等の事業所における公共交通機関の活用状況の把握、事業所独自で送迎等を行い費用負担もしている場合の公共交通機関への転換の可能性について検討を行う。  
・バス利用者の開拓のため、商店街や事業所等に対し、公共交通利用者への特典企画の実施等による集客事業の検討を促す。

### 新規公共交通利用者の開拓に向けた課題の検討(21年度～)

・観光客などの新規利用客を開拓することで、公共交通事業の採算性の向上を図るため、水陸両用車やDMVなどの導入及び活用についての課題を検討する。

### 乗合タクシーの導入(21年度～)

・路線バスの採算性の確保が困難となっている地域に適した、利便性、採算性の高い運行手段の確立を目指し、乗合タクシーと接続バスとを組み合わせた実証運行を行う。



## 釧路市地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容	協議会開催状況	2回開催	分科会等開催状況	-	回数は、平成21年度未だの開催予定
--------	---------	------	----------	---	-------------------

<b>乗合タクシーバスを接続させた実証運行</b> ・モデル地区において乗合タクシーと接続バスによる実証運行を実施、路線バスからの代替性について検証 <b>帰宅時間帯のバス臨時便の実証運行</b> ・全市一斉ノーマイカーデーの実施に合わせ、勤務時間終了後に夜間のバス臨時便を運行	<b>公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供</b> ・イベント対応公共交通利用券の作成・活用促進の実施 ・全市一斉ノーマイカーデーの推進 ・公共交通機関利用促進の検討 調査・研究等 ・実証運行に係るアンケート調査の実施
--	--

<b>乗合タクシーバスを接続させた実証運行</b> ・平成21年9月1日から平成21年12月31日まで、布伏内と阿寒町までを乗合タクシー、阿寒町から市立病院までをバスによる実証運行を実施 ・タクシー：平日6便、土日祝日3便 バス：平日10便、土日祝日6便 ・バス利用者の少ない布伏内地区をデマンド型タクシーとすることで、運行効率を高め、持続可能な公共交通のあり方を検証  <b>帰宅時間帯のバス臨時便の実証運行</b> ・全市一斉ノーマイカーデーに合わせて、最終を22時とする釧路駅前発のバスなど、合計16便を増便	<b>公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供</b> ・市内イベント期間中(対象イベント:港まつり、大漁どんぱく)において、くしろバス、阿寒バス共通の1日乗車券の作成・販売 ・平成21年8月～12月までの毎月最終金曜日(計5日)を全市一斉ノーマイカーデーと設定、マイカー利用を抑えるよう広く市民に呼びかけ、同時に飲食店等における客にバス券を提供するサービスを実施 ・市内バス事業者において、公共交通機関の優位性を検証しバス利用の開拓を目指すため、公共交通機関利用促進の検討を実施 調査・研究等 ・実証運行に係るアンケート調査の実施
---	---

### 自己評価のポイント

・乗合タクシー・バスの連携事業では、実証運行を通じて採算面等の検証を行い、来年度の本格運行に向けた具体的な作業が進んでおり、一定の成果があったと言える。  
・利用促進策については、PR不足により、利用率は低迷した。PR強化など更なる検証の必要性がある。

### 二次評価のポイント

自己評価のとおり、乗合タクシー事業については、本格実施に向けて円滑に運営することを期待する。